

充実の新校舎完成祝う

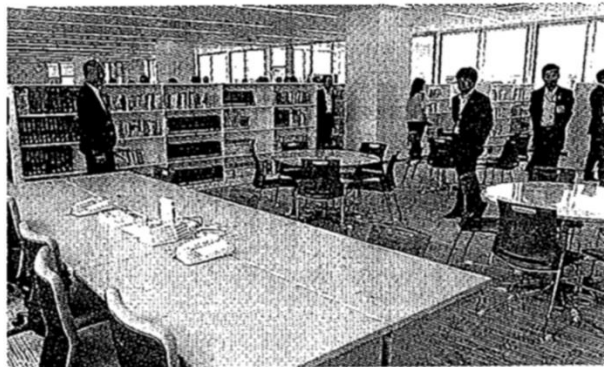
都市大塩尻高で式典

東京都立大学塩尻高 校(赤羽利文校長、73人)は17日、同校で新校舎の竣工式を開いた。体育館を従来の2倍の広さにしたほ

か、インターネットで講義などを受けられる「eラーニング」を整えた学習支援センターや自習室の新設などで生徒の学習環境を充実

させた。既に2学期から利用を始めている。

新校舎は鉄筋コンクリート造り4階建ての教室棟と講堂・体育館を備えたアリーナ棟がらなり、渡り廊下でつながっている。高さ約15メートルのアリーナ棟は1、2階が講堂、3、4階部分が体育館で、東京ドームで使われる膜構造を天井に採用し、太陽光を取り込む特徴的な造りだ。延べ床面積は2棟合わせて約6600平方メートル。



自習室や書籍を整えた学習支援センター

式には、関係者約40人が集まり完成を祝った。赤羽校長は「学習、スポーツの両面で生徒まで。

が利用しやすくなった。存分に生かしていきたい」と話した。本年度の学科再編に合わせて新校舎の建設と老朽化した校舎の大規模改修を行う。今後は旧校舎の改修や中庭の整備を実施する。総事業費は約20億円、工期は来年3月まで。(荘 隆子)

■この記事・写真等は市民タイムスの許諾を得て転載しています。

無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。